

目次

□巻頭言 年頭所感.....加藤 三重次/1

□特集 * 建設業の研究所...../3

建設業技術研究所の実態...../4

大林組技術研究所.....木村 薫/8

鹿島建設技術研究所.....渡辺 匡通/13

竹中技術研究所.....近藤 基樹/16
小田島 博 行

東亜建設工業土質水理研究室.....半沢 秀郎/20

日本国土開発技術研究所.....高橋 明/22

日本舗道技術研究所.....昆布谷 竹郎/25

□随想 スエズの砂.....梅田 治彦/28

□建設機械と私

建設機械について思う.....永田 亮/30

トンネルの技術開発にとりくむ.....安藤 章一/32

建設機械と共に10年.....金子 芳久/34

シールド現場にて思う.....高見澤 計夫/36

建設機械と歩いて.....久世 文雄/38

建設機械展示会(福岡)見聞記.....和田 一郎/41

グラビヤ—建設機械展示会(福岡)

建設機械と施工法シンポジウム見聞記.....大城 忠士/43

□'81 建設機械の現状

3. 基礎工事用機械

3.1 杭打機.....北川原 徹/47

3.2 場所打ち杭施工機械.....島村 光昭/51

3.3 地盤改良用機械.....青井 実/55

3.4 地下連続壁施工用機械.....副島 寅二郎/59

□新機種ニュース.....調査部会/62

□文献調査

文献目録紹介.....文献調査委員会/67

□整備技術

アメリカにおけるメカの教育訓練.....整備技術部会/71

□統計

建設工事費デフレータほか建設関連統計.....調査部会/75

理事会の開催...../76

行事一覧...../77

編集後記.....(津田・田辺・海老沢)/80

◀表紙写真説明▶

三菱パワーショベル
MS 580 ローダフロント
三菱重工業株式会社

本機は大規模土木工事、砕石現場等本格的マイニング分野での掘削・積込作業を主に18~32tクラスのダンプとの最適組合せ機械として開発され、燃費特性のよいエンジンと微操作性のすぐれたポンプ流量制御システムにより省エネ化を実現し、一方、機体バランスのとれたデザインと構造物強化で“生産財”として大型機必要最大条件である耐久性、信頼性を重視したものである。またマイコン制御による自動押し出し機構が装着され、フロアの整地、傾斜地等の現場ニーズに合った掘削がレバー1本で簡単にできる。

◀主な仕様▶

バケット容量.....	4.1 m ³ (ボトムダンプ)
全装備重量.....	64 t
エンジン出力.....	360 PS/1,800 rpm (三菱重工 S6 A-TA)
最大押し出し力.....	41 t
水平押し出し距離.....	3,750 mm
走行速度.....	3.5 km/hr, 2.0 km/hr